

事務事業名		博物館運営事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	博物館
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	係	
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	内線電話	8122
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	5目	博物館費	平成21年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	施設利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	常設展示室、企画展示、プラネタリウム等の運営事業を充実させ、来館者に地域の歴史・自然・文化・民俗に興味関心を持ってもらう。
		施設利用者		博物館講座等教育・啓発事業等を積極的に行ない、幅広い年齢層の方に足を運んでいただける博物館づくりに向けて取り組む。
現状・課題	博物館への公共交通機関がないため、お年寄りや子供など交通弱者対策が必要である。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	博物館法、中野市立博物館条例・同規則		
事務事業概要	博物館の企画展示、講座、講演会、調査、プラネタリウムの投影に関する事業を展開し、生涯学習のまちづくりを推進する。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	講演会及び企画展示		各1回	
	博物館講座		131回	
	プラネタリウム投影		土日祝日4回・団体・企画	
	資料整理修復作業業務委託		適時	
展示用レプリカ作成業務委託		1件		

事務インポート	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	21,643,000	21,279,000
補正・流用等		円			-	
合計		円	21,643,000	21,279,000	21,128,000	
決算（見込）額 A			円	21,091,675	21,279,000	-
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	1,057,555	1,241,000	1,298,000
	一般財源	円	20,034,120	20,038,000	19,830,000	
正規職員数		人	0.84	1.05	1.06	
人件費 B		円	5,404,560	6,764,100	6,828,520	
総事業費 A+B		円	26,496,235	28,043,100	27,956,520	
市民1人当たりコスト		円	619	659	660	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
企画展及び博物館講演会参加者数		維持	目標	1,700	人	1,700	人	1,700	人
			成果	816	人	未確定	人	-	
博物館講座等教育・啓発事業参加者数		維持	目標	1,400	人	1,500	人	1,500	人
			成果	1,452	人	未確定	人	-	
成果指標と目標値を設定した理由	幅広い年齢層の方に参加していただける特色のある博物館をめざす。講座等へ参加する方は、生涯学習を実践している人と考えられるため。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	増やす	コスト	下げる	成果	上げる
	引き続き博物館企画展示等を実施し、生涯学習のまちづくりを推進する。						

